

茅ヶ崎市は、令和5年8月、「こどもまちプロジェクト」を策定し、今後様々な施策を実施します。

「こどもまちプロジェクト」って？

「こどもまちプロジェクト」とは、こどもに関わる様々な施策をスピーディかつ効果的に実施していくための考え方及び施策を取りまとめたものです。

こどもたちと子育て世帯が安心して住み続けられるまちを実現！

〈これまで〉

「茅ヶ崎市総合計画2021-2030」政策目標1で、「子どもが希望を持って健やかに成長し、次代を担うひとが育つまち」を定め、こども施策を推進してきました。

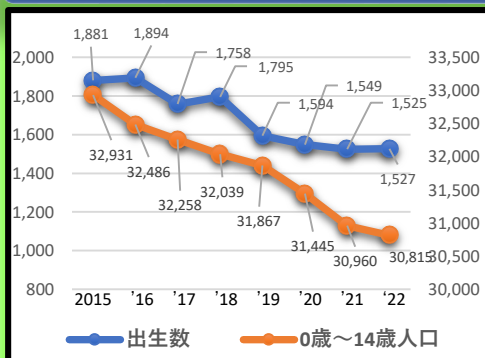
〈国の動き〉

①「こども基本法」制定 ②「こども家庭庁」発足 ③「こども未来戦略方針」を公表(R5.6.13) ④こども大綱を策定予定(令和5年度中)と動きを加速させています。

こどもまちプロジェクト
(令和5年8月)

令和7年度
こども計画を策定

こどもを取り巻く本市の状況



ポイント①
少子化傾向

全国的な少子化の傾向と同様に、出生数・0歳～14歳人口共に減少傾向。

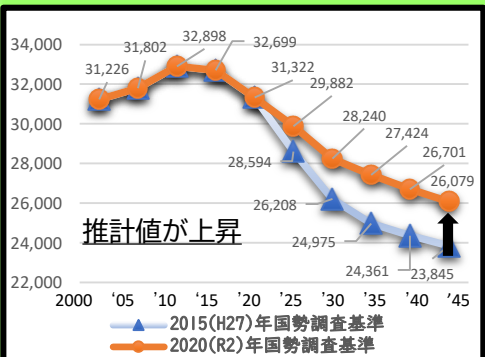
ポイント②
推計値が上昇

2015年基準に比べて、2020年基準の2045年人口推計の下降がゆるやかになった！

理由は、子育て世帯の転入が増加したためと考えられる。(※令和4年の0歳～14歳転入数は全国10位、令和3年度は子育て世帯転入率全国1位！)

ポイント③
転入が増えているよ！

【図1】茅ヶ崎市の出生数と人口(0歳～14歳)の推移
※1 茅ヶ崎市「統計年報」より数値を引用
※2 総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」より数値を引用



【図2】茅ヶ崎市の年少人口0歳～14歳の見通し茅ヶ崎市の将来推計人口(2022年1月推計)
(茅ヶ崎市企画政策部総合政策課)より引用

「こどもまちプロジェクト」で目指すもの

4つの目的

1 子を安心して産むことができる

2 笑顔で子育てできる～すべての子育て世帯を応援します～

3 支援が必要な子育て世帯、こどもへの支援

4 こども自身が笑顔になれる

8つの取組方針

- ① ライフステージを通じた産前期と子育て期に係る経済的支援の強化
 - 経済的側面の支援の強化
 - 第三子以降の多子世帯の負担軽減等
- ② 切れ目ない支援
 - 妊娠期からの親子の健康確保や増進
 - 産後ケアの拡充等
- ③ 家庭における子育て支援
 - 家事・育児支援等の強化
 - ファミリー・サポート・センター事業や子育て支援センター等の充実
 - 「誰でも通園」やアウトリーチなど未就園児等を支援
- ④ 仕事と子育ての両立支援
 - 幼児教育・保育の質の向上
 - 保育所、学童待機児童の解消
 - 中学校給食の実現
- ⑤ 子育てしやすい生活環境の整備
 - 子育て世帯がかけやすい環境を整備
 - 子育てしやすい気運の醸成
- ⑥ 生まれた環境により将来を左右されない
 - 困難を抱える家庭への支援の充実
- ⑦ 誰一人取り残さない社会
 - 支援を必要とする環境にいるこども(ヤングケアラー等)や、支援を必要とするこどもに対する支援
- ⑧ こども自身が自分の未来を選択できる成長支援
 - こどもが自分自身の力を伸ばし、未来の選択が広がるような支援